

膵臓センター

川畑 康成
肝胆膵外科
科長

沖縄の膵臓医療をリードする。 確かな技術と先進の治療。

～地域の中核病院として、高度な膵臓医療を提供します～

目的

那覇市立病院膵臓センターは、膵がんや膵炎などの膵疾患に対し、より専門的で高度な医療を提供することを目的に設立されました。早期発見から診断、治療までを一貫して行う体制を整え、県内外の医療機関と連携しながら、地域の皆さまに信頼される医療を目指しています。

センターの特徴と機能

当センターでは、膵臓専門医を中心に外科、消化器内科、放射線科、病理診断科など多領域のスペシャリストがチームとなり、それぞれの患者さんに合わせた治療方針を迅速に決定します。また、高精度CT・MRI・超音波内視鏡(EUS)など最新機器を備え、膵疾患の早期発見と精密診断を可能にしています。

外科治療では、身体への負担を抑える腹腔鏡手術やロボット支援手術に対応し、進行症例には血管合併切除再建や多臓器合併切除など高度な手術を駆使して根治を目指します。薬物療法や放射線療法を組み合わせた集学的治療にも力を入れ、切除不能と診断された場合でも治療の可能性を広げる取り組みを行っています。がん遺伝子パネル検査により、保険適用薬の提案や治験参加の選択肢も提供可能です。



院内外の連携

さらに、地域医療機関との密接な連携を行い、紹介・逆紹介体制を整備し、初診予約は原則5～10営業日以内と、迅速な外来対応を実施しています。がん専門看護師(膵臓がん患者団体パンキャンジャパン支部長)、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーが連携し、受診から退院後まで切れ目のないサポートを提供します。

膵臓センターは、膵疾患に悩むすべての方へ高品質な医療を提供します。どうぞお気軽にご相談ください。



膵臓センターの主な医療サービス

- 急性・慢性膵炎の診断と治療
- 膵のう胞性疾患、膵神経内分泌疾患の診断と管理・治療
- 膵がんの早期発見・集学的治療(手術・化学治療・放射線療法・緩和ケア)
- 低侵襲(腹腔鏡下・ロボット支援)手術の提供
- 地域医療機関との連携による紹介・逆紹介体制の構築
- セカンドオピニオンの提供
- 膵がんゲノム医療の相談・検査・提供